

# 名情研だより

第13号  
名古屋市情報教育研究会  
広報部

## — 研修部より —



### いっしょにチャレンジしてみませんか！（情報教育全体研修会について）

名情研では、毎年、夏季休業中に、名古屋市内の教員ならだれでも参加できる研修会を開催しています。それが、情報教育全体研修会です。簡単なことから段階的に研修を進めるので、大変人気がある研修会です。

本年度は、8月23日（月）に、NCS名古屋情報メディア専門学校を会場に行いました。101名の受講者が、「ホームページ作成講座」と「プレゼンテーション作成講座」に分かれ、情報教育について学び、各々の力量向上を目指しました。暑さが厳しい日でしたが、一人一台のコンピュータで熱心に研修に取り組みました。

「ホームページ作成講座」では、ホームページの作成法を基礎から学びました。その後、学校HPの運用について研修したり、実際に学校ホームページの作成に取り組んだりしました。

「プレゼンテーション作成講座」では、効果的なプレゼンテーションの制作方法を学びました。受講者の要望に合わせて、実践発表や各種説明会のプレゼンテーション作りに取り組みました。



<すてきなホームページができました！>

### 【受講者の声】

- 講師の先生がたくさんみえたので、個別にゆったり質問することができた。今まで分からなかったことが分かり、すっきりです。ありがとうございました。
- 基礎を分かりやすく教えていただき、ありがとうございました。研究発表の際、ぜひ使わせていただきたいと思います。日常でも取り入れると、子どもの学習意欲向上につながると思うので頑張りたいです。



<座席がたりないくらい大盛況でした！>

## お知らせ

平成22年度 名古屋市情報研究会研究発表大会

「見つける楽しさ、わかる喜び、そしてあふれる感動」

— 情報活用能力を育てるICT活用を通して —

日時 平成23年2月4日（金）14:45～ 教育センター講堂にて

## －研究部活動紹介－



### カリキュラム研究部

本研究部では、新しい学習指導要領における情報教育実践やICT活用についての実践を積み重ね、情報活用能力を育成する実践例の充実を図ってきました。そして、平成19年度には実践例を集約した「情報活用能力を育成する実践例」、平成20年度は「情報モラルを育成する実践例集」、平成21年度は「新学習指導要領に基づいた実践例」を発行することができました。

平成19～21年度に発行した実践例を見ると、情報活用能力や情報モラルを育成する実践例は充実してきており、子どもの発達段階や様々な学習場面に応じた情報教育の授業展開を行う準備が整ってきました。そこで本年度は、今までに取り組みされた実践例を共通したカリキュラムの基に整備をして、より一層子どもの発達段階や場面に応じた情報教育を行いやすい実践例集となるよう、環境整備に努めてきました。また、今後取り組みられる情報活用能力を育てる実践例を新たに加えることができるように整備して、一層使いやすく充実したカリキュラムにしていきたいと考えています。

### 実践研究部

本研究部では、学習の中における情報活用の実践力の育成を重点にした指導場面を明らかにし、授業研究を行うことで、情報活用能力向上を目指した指導法の開発と部員相互の授業力の向上を目指して取り組んでいます。本年度は、教師のICT活用指導力を高める実践研究を通して、子どもの情報活用能力の育成について重点を置いて研究しています。月に1回の部会では、「教師がICTを活用する」グループと「子どもがICTを活用する」の2つグループに分かれて、実践者同士で交流を行っています。また、各グループでの交流後には、グループリーダーが、交流内容について発表し、相互に理解を深めています。「教師がICTを活用する」グループでは、電子黒板や実物投影機を算数や外国語活動等で活用することにより、子どもたちの学習に対する興味関心を高め、分かる授業を目指した実践などが紹介されました。「子どもがICTを活用する」グループでは、発表活動でプロジェクタを使い具体物を映し出して発表したり、電子黒板を子どもたち自らが操作して学習に参加したりして、学習意欲の向上を目指し、学習内容の理解につなげる実践について紹介されました。

### 教育研究研修部

今年度、教育研究研修部では、情報に関する実践研究を目指す先生方にとって意義のある会にするため、次のような活動に取り組みました。教育委員会指導室指導主事の佐野治之先生をお招きして講演会を開催したり、教育センター情報教育部指導主事の佐藤安弘先生をお招きして講座に取り組んだりすることで、研究の方向性を固めることができました。また、各々の実践計画や実践内容を同じ分野ごとにまとめてグループで検討する時間を設けました。持ち寄った計画書や報告書をさまざまな目で見えて検討し合うことで、新しい考えを知ったり参考になる意見をいただくことができ、より高い実践に臨む姿が見られました。

その他、実践研究者と指導者、校長先生を交えての個別検討会では、計画段階や研究内容を向上させる貴重な時間となっています。何れの回も40名を超える参加者で、熱気に満ちた研修会が行われました。

名情研ホームページ「<http://www.meijoken.com/>」